

「踊り場の女」

池田美樹

■ 登場人物

蘭子 …… 四十一歳・独身・熊本出身。就職を機に離熊。

以降、さまざまな男性遍歴を重ねながら各地を渡り歩き、現在福岡在住。

典平 …… 三十歳。鹿児島出身。俳優を目指して上京するも挫折、現在福岡在住。

篠沢 …… 四十六歳。大分出身。福岡にて塾講師……を休職中。

ヒナコ …… 二十二歳。長崎・五島出身。漠然とした夢を抱いて福岡へ。

大家姉妹 …… 蘭子・典平の住むマンションの大家。

弟 …… 蘭子の実弟。

義妹 …… 蘭子の義妹。

■ あらすじ

「『親戚の方や近い方がいらしたら、早目に連絡されて下さい。』」

「東京に居るふり」をしながら、福岡で人生のお茶を濁す典平。

値段で選んだルームシェアの相手は無愛想な40女。ある日、その女が交通事故に！

意識不明十身内不明。入院費・入院承諾書・洗濯物……次々と背負い込んでしまううち、

女の、奔放で豪快な過去に触れていくこと……。

■現在・12/10救急外来

看護師 「ご親戚の方や近しい方がいらしたら、早目に連絡されて下さい。
典平 ……はい。

冬。

集中治療室。

廊下を歩く典平とヒナコ。と、メガネをかけた事務長。

事務長 あの。

典平 ?

事務長 入院手続きと治療承諾書にサインをお願いしたいんですが。

典平 俺がですか？

事務長 お身内の方ですか？

典平 いえ。

事務長 お身内の方の連絡先はわかりますか？

典平 ……わかると思います。

事務長 では、恐れ入りますが、近日中に「こちらにいらっしゃるようお伝え願えますか？

典平 ……はい。

事務長 (会釈…退場)

声 近日中に

声 連絡を取られて

声 こちらに

声 いらっしゃるよう

声 お伝え

声 願えますか？

典平 くそメガネ！

ヒナコ え、誰？

典平 あいつ。

ヒナコ ……死ぬの？

典平 ……

ヒナコ ……きつそうだった？

典平 気になるなら入ってくればよかったじゃん。

ヒナコ 無理。

典平 ……

ヒナコ 連絡しないの？

典平 え。

ヒナコ 実家。

典平 しない。

ヒナコ なんで。

典平 約束じゃん。

ヒナコ え。

典平 死んだら、知らせてって。

ヒナコ 死にそうじゃん。

典平 でもまだ死んでないじゃん。

ヒナコ じゃああなたが掛ける。

典平 ……

ヒナコ ……何？

典平 約束だから。(無視して手持ち無沙汰に携帯をいじっている)あ、ヒナコ、何？

典平 もう載ってる。

急ブレーキ十重たいものがぶつかる音。

ネットの地元ニュースに短い文で表示される事故の内容。

坂梨町で事故・女性重態。

10日午後17時頃、坂梨町交差点で原動機付自転車の女性とバスが衝突。女性は車体に巻き込まれ、重態。坂梨警察署の調べによると女性は緑山蘭子さん(41)...

声 あら！

声 まあ！

声たち あらあら...

電光石火のごとく界限を駆け巡るニュース。

典平 緑山蘭子さん・41歳は、近所の人からすんげえ嫌われてた。疎まれてた。めんどくさがられてた。

またたく間に近所の声に囲まれる典平。「博多弁」。

近所① ご冥福を祈ります。

典平 まだ死んでないんですけど...

近所① ああごめんごめん。あんたも大変ね。

典平 いえ。

近所② ああ身内ね？

典平 いえ。

近所② 蘭子さん、ニコん植木鉢ばずらーっと割っていきんしゃったとよ。じいちゃんの大事にしとんしゃった蘭の鉢から
なんから。

典平 すみません。

近所③ うちの犬がおらんごつなっとな。どこにおったと思う？

典平 さあ。

近所③ 国道につないであつたとよ。車のびゃんびゃん通るところに。あん人がくさ、こげん引っ張って行きよつたつば見と
つた人がいっばいおるとよ。

典平 すみません。

近所④ 悪かばつてんくさ、同情はしきらん、

近所⑤ どげんしんしゃつちやろか、身内もおらんで。

近所⑥ ああが葬式出さなたい。

近所⑦ とんだ災難やったね。

典平 こんな感じで、すんげえ嫌われてた。疎まれてた。めんどくさがられてた。そして、俺と一緒に住んでいた。

水たまりを飛びようにステップを踏む蘭子。

◆(回想) 去年7月(ルームシェアの始まり)

1年半前。初夏。

書類を手に部屋の説明をしてまわる女。同じく書類を手に、ついて廻る青年。

蘭子 あんたの部屋はそっちの和室。台所は共有。洗濯機は日替わり。お風呂は時間で決める。…聞いている？

典平 はい。

蘭子 ほんと聞いている？聞いている？

典平 …聞いてます。

蘭子 この家賃は8万。あたしが広い部屋取ってるから4万5000。あんたが3万5000。

典平 助かります。あ、でも。

蘭子 (ヒリック)何。

典平 電話で話したように、俺、半年で出て行くんですけど。

蘭子 ああ。芸能人になりたいんだっけ。

典平 俳優です。

蘭子 (グツと寄ってくる)誰が好き？

典平 え。

蘭子 芸能人。

典平 やっぱ、福山すね。

蘭子 出た。

典平 は？

蘭子 あれカッコいいかな。

典平 え。

蘭子 田舎男子は大抵、「福山！」って言うよね。

典平 どこなんですか。

蘭子 え。

典平 田舎。

蘭子 あたし？あたしは熊本。あんたは？

典平 鹿児島です。

蘭子 ま、どっちもどっちだね(笑)

典平 緑山さんは。

蘭子 下の名前で呼んで。名字好きじゃないんで。

典平 (書類を見つづ)ら…蘭子さんは好きな人いないんですか？

蘭子 は？

典平 芸能人で。

蘭子 ああ…堤真一。

典平 ああ！それは認めます。

蘭子 あんたに認められなくても好きだけど。

典平 あれ好きです、「容疑者エックスの」

2人…「献身」！

蘭子 あるよ。DVD。

典平 まじすか。

蘭子 見る？で呑む？

典平 え。

蘭子 ルームシェア祝い。あたしごはん作る。

典平 いいんですか？

蘭子 きょうただけだよ。まじできょうだけ。

典平 了解です。作れるんですか？

蘭子 え。

典平 料理。

蘭子 ひとり暮らし20年ナメんな。

典平 期待します。

蘭子 何て読むの。

典平 え。

蘭子 これ。名前。(書類さして)

典平 あ、有村…典平、って読みます。

蘭子 サザエさん。

典平 それは波平。

蘭子 あ。

典平 よく言われます。

蘭子 のりへい(笑)

典平 はい。

蘭子 (ヒリック)あ。

典平 ?

蘭子 …荷物そこ置かないで。そこはあたしのエリア。あんたのエリアはこっちから向こう。ここからここが共有部分。

典平 すいません。(荷物をどかす)

蘭子 あたし、ちゃんとしな人ダメなんで。決めたら何があってもそれを守る。そんな感じじゃないとダメなんで。

典平 あ、はい。

蘭子 それが重いならナンでいいから。

典平 え?

蘭子 違う人探したほうがいいと思っだから。

典平 いえ!どうせ半年ですし。

蘭子 ……(自分の部屋に戻って戸を閉める)

典平 あの…あの、「容疑者エックス」は…

蘭子 またにしよう。

ヒシヤッと閉まる戸。

ピンポーン。

■(現在 12/10)電話①

現在。事故当日。

ドアを開けると、大家姉妹。

腰の折れ曲がった、なのに気だけは急いでる様子の老婆。2人の言葉は「博多弁」。

大家姉 おるとー。

典平 あ、はい。

大家妹 どげんね。

典平 はあ…

大家姉 死にんしゃあと?

典平 どうでしょう。

大家妹 誰か連絡のついた?

典平 いえ。逆に、この人に連絡したがいって人ご存知ないですか?

大家姉 あーねえ。

大家妹 あん人あ淫乱やったけんねえ。

典平 え?

大家妹 うん、そらそげん関係の人あいーっぱいおんしゃあばってん、そんなたちが惜しみんしゃあねえ。

典平 淫乱って…

大家妹 あーたが来る前はもう、とつかえひつかえ。

大屋姉 うん、もう、あーたが来る前は。(上目遣いで典平を)

典平 あ、え?あの、俺は違いますから。

大屋姉 蘭子さんな声の太かけん。

大屋妹 うん、たいがいにしとかな。

典平 あの…

大家妹 で、大丈夫とね。来月から。

典平 は？

大家妹 あーたひとりでここに住みきるとね？

大家妹 出て行くなら早う言うてね。こっちも準備のあるけん。

ヒナコ 決め付けないで下さい！

大家妹 は？

奥で我慢して聞いていたヒナコ、耐えかねて。

ヒナコ まだ亡くなくてもないのに、ひどくないですか？

大家妹 何ねこん子は。

典平 あ、恋人です。

大家妹 ふとかねー。

大家妹 あーたおっぱい好きねえ。

大家妹 蘭子さんもふとかったもんねえ。

ヒナコ ……

大家妹 (ヒナコに)ごめんばつてん、あたしたちや最近の人は信用しとらんけん。

大家妹 滞納するだけしていきなりおらんことなる、とかしよちゆうやけん。

大家妹 なら何か動きのあつたら教えてね。

大家妹、退場。

ヒナコ あいつら何なの？

典平 大家さん。

ヒナコ きょうだい？

典平 うん。

ヒナコ だよねえ。そつくりだもんねえ。

典平 うん。

ヒナコ 結婚してないのかな。

典平 多分ね。

ヒナコ あーやだ！何があつてもあんな年寄りにはなりたくないね！

典平 なんねえよ、おまえは。

ヒナコ そう思う？(すっげえ嬉しい)

典平 うん。

ヒナコ ねえ、へいちゃん、あたし恋人？

典平 は。

ヒナコ 今、言ったよね。

典平 便宜上ね。

ヒナコ でも言ったよね。

典平 その話、今する？

ヒナコ ……いや、いいけど。

典平 ねえ、写メ撮って。

ヒナコ え。

典平 今から蘭子さんの部屋に入るから。仕方なく入ったっていう証明。

ヒナコ 了解。

神妙な面持ちの典平を撮るヒナコ。

異空間に割り入るような緊張。

典平 俺は、「絶対立ち入り禁止」になった区域に足を踏み込んだ。初めて入るその空間は、事務所かと思ってくらい殺風景だった。

ヒナコ すごいね。

典平 いつ死んでも恥ずかしくないようにしとくんだって言った。(タンスの小引き出しを開けて)ぶっ。

ヒナコ 何。

典平 パンツまできれいに並べてある。

ヒナコ へいちゃん！

典平 ごめん。

ヒナコ あ、携帯ないかな、携帯。

典平 無理。

ヒナコ 何で？

典平 ぐしやり。バスで。頭と一緒に。

ヒナコ ……電話会社に聞けば履歴残ってるんじゃない？

典平 そこまでする義理ある？

ヒナコ そうだけ？

典平 あらもう、めんどくせー！

なつころがる典平。と、本棚の上部にきれいに並べられたはぎファイルを見つける。

典平 お。

ヒナコ 何？

典平 年賀状。(指差して)ほら、2013年、12年…

ヒナコ おお。

典平 (手に取る)わ、小栗旬から来てる！

ヒナコ まじで？

典平 ほむ。

ヒナコ これ郵便局から必ず来るやつじゃない？

典平 え。

ヒナコ 年賀状と一緒に人全員に送られて来るの。あたしも中島みゆきからもらったことある。

典平 そうなの？

ヒナコ この小栗旬の一枚を大事にしてる人って居るんだろうね。

典平 (リアクション)

ヒナコ ね、なんか書いてあるのじゃない？印刷だけじゃなくて、手書きのコメント。

典平 え。

ヒナコ コメント書くくらいの人なら心配もするでしょ？

典平 そうだね…ないね。

ヒナコ (無視して探す) あるじゃん。

典平 2008年。

ヒナコ 5年前か。掛けて。

典平 俺が？

ヒナコ 番号読むよ。

典平 ちよ。

ヒナコ O569…

典平 O56972111。

ヒナコ 三重県。

典平 まじ？

声 「お元気ですか？今年もパワフルな蘭子さんでお過し下さい」

典平 (掛ける)

声 「」の番号は現在使われておりません…」

ヒナコ 次。073の…

典平 073ってユリ。

ヒナコ 和歌山。

典平 まじ。

声 「今年はウサギ年！蘭子さんもジャンプ！」

典平 (掛ける)

声 「」の番号は現在…」

ヒナコ 次…何？

典平 (寝転がる)折れた。

ヒナコ (無視)はい。082の…

典平 082ってユリ。

ヒナコ 広島県。

典平 まじ。

声 (広島弁)「あなたは変わりはないんかいね？律子ちゃんお嫁に行っちゃったんと。

「うち寄ることあったら顔みせんさいよ」

コール音。緊張。

岩崎 はい、岩崎ですう。

典平 えっと…(年賀状を確認しながら)岩崎…直美さんですか？

岩崎 …どちらさんですかいね？

典平 あつと、有村と申しますが…(緑山蘭子って人、わかりますか？

岩崎 は？

典平 緑山、蘭子。そちらから来た年賀状を見てお電話してるんですが…

岩崎 うちかたからですかいねえ…？

典平 (賀状で確認しながら)岩崎…直美さんですよ。

ぶじ、と切れる電話。

ヒナコ 切れた？

典平 ま、そうだよな。

ヒナコ もういいにあった。

典平 もついいや、

ヒナコ 読むよ、088の…

典平 088ってユリ。

ヒナコ 高知。

典平 (掛けながら)…どんだけ放浪してんだよ…

声 (土佐弁)「家族五人、元気にしゆうで…いつか遊びに来いやー」

コール音。

声 はい、「エステティック・フローラ」でございます。(微妙な高知アクセント)

典平 あの…(賀状で確認しながら)松島さん…いらっしやいますか？

声 は？

典平 あ、えっと、松島佳子さん。

声 あ、待っちゃって下さいねえ…

耳に痛い音楽＋素人が読んだような宣伝ナレーション。

テープ「年末年始でサイズダウン！エステティック・フローラ…」

典平 エステだって。

ヒナコ（リアクション）

松島 お待たせしました松島です！（ヒナコ）の「土佐弁」

典平 あ、あの、えーっと…

松島 ご予約でするうか？

典平 いえ！えと、有村と申しますが…緑山蘭子って人、わかりますか？

松島 はあ？

典平 緑山、蘭子。そちらから来た年賀状を見て…

松島 年賀状？

典平（折れそう）あー、いや、すみません、いいです。

ヒナコ（つつく）

典平 あ、えと、その年賀状に「家族5人元気です！」って…

松島 あ？

典平 あ。

松島 わかった！蘭子ちゃんやね…蘭子ちゃん！

典平 あ、はい。

松島 むかし、うちんくに勤めちよった人よね？どいつが？

典平 あの…事故に遭っちゃって、

松島 事故！たまるか！ひどいが？

典平 あの…

ヒナコ どうしたの？

典平 何て言ってるかわかんねえ。

松島 もしもし？

典平 あ、はい！

松島 あんた…息子さんが？

典平 は？

松島 蘭子さんくの、お子さん？

典平 あ、いえ！ルームシェアしてるものです。

松島 は？

典平 …ああ、えっと、間借りしてるものです。

電話の向こうで呼ばれる声。

声 お客さん、待ちゆうで…

松島 あ、はい！すまんけど、掛け直してえいろうか。

典平 あ、はい。すみません。

松島 うん、ほいたらー。

電話、切る。

ヒナコ なんて？

典平 あとで掛け直すって。

ヒナコ あたしもう店に行かなきゃ。

典平 「おっぱい番長」？

ヒナコ やめて。

典平 す「い名前だよな(笑)
ヒナコ やめて。

典平 いつまで勤めんの？

ヒナコ やめて欲しい？

典平 そうだね。そうかな。

ヒナコ どっち？(笑)

典平 わかんねえ。

ヒナコ じゃ結婚してよ。(軽く)

典平 え。

ヒナコ うそ。

典平 ごめんね。

ヒナコ 大丈夫。頼りにしてないから。

典平 ひでーな。

ヒナコ (突如大きい声)な〜あっ！

典平 なんだよ！

ヒナコ すんごいやなこと思い出した。

典平 何。

ヒナコ 虫歯のにおいのおっさんにチューされたの。あ〜、がんばれがんばれ！

ヒナコ、退場。見送らない典平。

声 あ〜。

声 あ〜。

声 がんばれがんばれ

声 あ〜あ、

声 あ〜あ、

声 あ〜あ〜あ〜、

◆(回想 去年8月)思い出し奇声

一年半前。夏。

蘭子 あ〜、学校行こう、学校行こう、学校行こう！

典平 蘭子さんはしばしばそう叫んでいた。最初は意味がわからなかった。でもある日、

典平 何の学校？

蘭子 え？

典平 それ。

蘭子 (グッと寄ってくる)ねえ、波平さん。

典平 のりへいです。

蘭子 昔のヤ〜な記憶が、ぼぼとフラッシュバックする「と、ない？

典平 え。

蘭子 「なんであんな」と言っただろうっ」とか、

典平 「なんででしよぼぼちやっただろうっ」とか？

蘭子 そう〜そんなときさ、「あのときのあたし死ね〜」とか思わない？

典平 思っおもっ。

蘭子 でもさ、「死ね」とか言っただけで病気になるたりしたらどうしよう、とか思わない？

典平 それはないです。

蘭子 くそ！

典平 何くそ？

蘭子 所詮あんたは向こう側の人間なんだよ。

典平 は？

蘭子 入って来んな。(エア線引き)

典平 てかなんで「学校行」「う」なんですか？

蘭子 だから、本当にそうならちやうたら怖いけど、言わずにいられない言葉が身体の中でねじまがって、「う」

典平 「学校行」「う」って？

蘭子 あんたいくつ？何年生まれ？

典平 84年。

蘭子 じゃ今年、

典平 29です。

蘭子 え？その齡で東京？

典平 え。

蘭子 ギリギリじゃん。

典平 え。

蘭子 夢みてられる、ギリギリ。

典平 そうかな。

蘭子 そうだよ。あ、傷ついた？

典平 別に。

蘭子 うっそ。みたらいいよ、夢。あんた向こう側の人だし。

典平 俺、どんな世界に居るんですか。

蘭子 やり直しの利く世界。

典平 (笑)じゃそっちは？

蘭子 やり直しちやいけない世界。

典平 ヤな世界ですね。

蘭子 夢みがちな人間はね、ある程度の齡になったら夢みないようにしないと。

典平 夢と齡は関係なくないですか？

蘭子 あたしは、だめ。

典平 なんです。

蘭子 だめだめだめ。あたしは、だめ。

と、携帯が鳴る。

声 〇〇〇

声 〇〇〇

声 〇〇〇は、

声 高知

■【現在 12/10】電話②

松島 さつきはすまんかったねえ。ほいで、どうたぞね。

典平 入院の承諾書？それにサインする人がいなくて。

松島 うちに言いゆうが？？

典平 …無理ですよね？

松島 身内はおらんががよ？

典平 事情があつて、連絡取れなくて。

松島 蘭子ちゃん、確かあ出身てよ…

典平 熊本？

松島 まじ「いやーそつよー！

典平 なんて熊本から高知に。

松島 就職でやなかったらどうか？けど最初は大阪やったにかあらん。

典平 大阪！

松島 そうながよ。うちんくは本社が大阪やきよ。

典平 エステですか…

松島 どいたが？

典平 いや、今は毎日すっぴんで。

松島 あはは！蘭子ちゃん優秀やったき。なんぼ言うち仕事のためやき、その…

◆(回想 去年11月)堀ちえみ

1年半前。初秋。

典平 え？じゃそれ、整形？

蘭子 そう。昔の顔みる？

典平 かなり見たいです。

蘭子 じゃーん！(写真)

典平 え、こそ！まじで？

蘭子 ふふん。

典平 これ、あれに似てる、

蘭子 誰？

典平 「私はのろまなカメです」っていう、

蘭子 堀ちえみ？

典平 なんかそんな人…どこをいじったんですか？

蘭子 目と鼻とアゴと…胸。

典平 …ええええ？

蘭子 でもウケたよ

典平 誰に？

蘭子 職場の人と…お客さん？

蘭子の過去の職業を彷彿とさせる場面。

「地方の場末のスナックの人気者」として陽気にはしゃぐ蘭子。

邦画の予告編でも見るようにそれを眺める典平。

■(現在 12/10)電話③

松島 …結婚するって言いよったに、相手の人、蘭子ちゃんのお金持ち逃げしたが。ほんで蘭子ちゃんも確かあ、三重かどっかに。

典平 …

松島 おたくもおお「下」になつちゅうろけんどよ…回復するがを祈りゆうき。

典平 …ありがとっ「ぎ」います。

■(現在・翌日 12/11)見守り家族

医師 緑山さんの症状は外傷性脳出血。今は小康状態を保っていますが、いつ血のかたまりが破れて出血するかわからない状況です。

現在。事故の翌日。

病院。担当医師・事務長、典平・ヒナコ。

典平 今は何もできないってことですか？

医師 これ以上の治療を望まれるかどうか、確認が取れないと「こちらも。ま、とにかく時間があるわけではない状況な
んですよね。

典平 …サインする人がいなかったらどうなるんですか？

事務長 緑山さんは、生活保護を受けてらっしゃいますか？

ヒナコ 受けてたらっ。

事務長 最寄の福祉事務所長さんにサインを頂くことになります。

典平 …受けてないと思います。

事務長 職場の上司の方とか、お友達とか。

ヒナコ 友達でもいいんですか？

事務長 はい。

ヒナコ じゃ、あたしがサインします。

事務長 ああ…ただ、(ヒナコを眺めるように見て)

ヒナコ？

事務長 入院承諾書にサインを頂く場合は、万が一入院費が滞った場合の支払いと…これまた万が一の場合、ご遺体
を引き取って頂くことになります。

ヒナコ あ…

典平 もうちょっと、待って下さい。

事務長 あ、こつこつした機関もごぞいますよ。

声 「公益法人「見守り家族」。身寄りのない患者様のお世話をします。」

事務 最近、身寄りのない患者さんも増えて来てですね。

典平 …はあ。

声 みよりのない方の身元保証人となり、

声 安心の暮らしを支えます

声 万が一のときは、

声 ご家族に代わり、

声 葬儀・納骨・喪主を

声 みまも

声 り

声 みがわ

声 り

と、看護師。

看護師 あ、こちら緑山さんのご家族ですか？

典平 いえ。

看護師 緑山さんの洗濯ものを持ち帰って下さる方は、いらっしゃいませんか。

典平 あの…そういうのは病院では…

看護師 原則として、「ご家族や付き添いの方がされることになってるんですよ。

典平 家族がいないときは？

事務 市役所で手続きをして頂いて、付き添いの方を雇って頂くかたちになりますね。

ヒナコ じゃ、あたしが洗います。

看護師 助かります。今お持ちしますね。

事務+看護師、去る。

典平 くそメガネ！

ヒナコ くそ看護師！

典平 え。

ヒナコ 何あれ！看護師って患者さんのめんどろつみるのが仕事じゃないの？

典平 それは違うんじゃないかね？

ヒナコ 何で？

典平 おかあさんじゃないんだから。

ヒナコ そのくらいしてあげてもいいじゃん。

典平 じゃおまえがしてあげればいいじゃん。

ヒナコ するよ。するさ。だって…

典平 ？

ヒナコ …あたし、逃げた。遺体とか言われた途端…

典平 当然だよ。

ヒナコ え。

典平 俺ら、葬式とか無理だし。

ヒナコ …だよね。

典平 …うん。

ヒナコ がんばろ。洗濯しよ。サインしてくれる人探そ。

典平 頼んだ。

ヒナコ は。

典平 俺、バイトなんで。(ぐるり)

ヒナコ え…え…え…？

繁華街を歩く典平。

典平 街を歩く。小学生、じいさん、おっさん、サラリーマン…こいつが入院したら誰がサインするんだろう…誰が洗濯するんだろう…

声 みより。みより。

声 みよせ。

声 みをよせ。

冬の夕方、繁華街の風景のように見える「普通の」人々。

風景の中から「普通の人」である親の声(「鹿兒島弁」)が聞こえて来る。

母 いっすい？

典平 え。

母 いっすい夢みちよつとね？

典平 夢ち。

母 芸能人になりたいちゆう人なんか、ずんばいおつたいよ。そげん簡単にはなれんち。

典平 ……

母 戻っせ来たあたりやあ、会社に口きいちやるち、吉野さんが言っつくれちよつとよ。…潮時じゃらせんけ？

父 よかがね。(典平に)30までは好んなごっ、しっみればよかと思ど。

母 おとっさん！

父 好んなごつがあいなら、どしどしでんやっみらんね。

母 ととんしちよらんかい、腹が立つんだがね！

父 じゃっけ？

母 何年も、たうだ回ごつにおつせえ。何しちよつとかしらせんけど…

◆(回想 去年の11月)約束

典平 うん…うん…うんにや、正月(しよがつ)も帰れん。うん、オーディションがあつて。うん。じゃ。

蘭子 (グツと寄って来る) オーディンって何？

典平 何でもないです。

蘭子 ようやく動き出した？

典平 別に。

蘭子 じゃ今の電話、なに？

典平 俺、ここにいないことになってるんで。

蘭子 え。

典平 東京にいることになってるんで。

蘭子 …それはつまり、逃げ帰ったことを内緒にしてるってことですか？

典平 は？

蘭子 東京から逃げて、だけど地元には戻れず、ここ福岡でお茶を濁してることですか？ ナミヘイさん。

典平 は？

蘭子 違いますか？ 違いますか？

典平 …違いますか？ 違いますか？ (真似する)

蘭子 凶星ってさ、すごい音だよ。ずぼし。

典平 オーディン受けるのも事務所入るのもお金かかるんです。何もかも高い東京じゃ貯まるものも貯まんない

から、一旦、生活費の安いところで働いて、目標金額貯めて、春までにまた行くんです。

蘭子 カラオケ屋だっけ。

典平 ええ。

蘭子 それで貯まる？

典平 もうひとつ増やす予定なんで。

蘭子 ふうん。

典平 蘭子さんは何してるんですか？

蘭子 あたし？ あたし、事務。

典平 何の？

蘭子 看板屋。もう6年。

典平 6年！ それ、楽しい？

蘭子 楽しいとか楽しくないとか関係ないでしょ、仕事なんだから。

典平 へえ。(バカにしたように)

蘭子 あんたもちゃんと正社員になれば？

典平 え。

蘭子 正社員。大事よ。保険とか年金とか。ローン組むときとか。

典平 ……

蘭子 あ、でも芸能人になるんだったね。(鹿児島弁の真似)

典平 俳優です。(苛！)

蘭子 福山雅治って社会保険なのかなあ。

典平 え。

蘭子 ねえバイトしない？

典平 は？

蘭子 30分千円のバイト。…ツタヤにさ、返しに行くだけ。そんだけで千円。

典平 なんて自分で行かないんですか？

蘭子 寒いから。

典平 バカじゃねえの。

蘭子 あんた若いじゃん。

典平 夢みてられるギリギリですが。

蘭子 早く。

典平 は。

蘭子 2時までだから。早く！

典平 それからちよくちよく、

蘭子 ねえ、バイトしない？

典平 大型ゴミ出し、蛍光灯の付け替え、固まったジャムのふた空け…簡単な、でもちよつとめんどうな仕事をふられた。たんびに五百円とか千円とか、くれた。そしてある日、

蘭子 ねえバイトしない？

典平 何ですか。

蘭子 電話するだけの簡単なお仕事です。(小さな手提げ金庫。その中からメモを取り出す)

典平 …いいです。

蘭子 あね、

典平 聞かないから。

蘭子 あたしが死んだらさ。

典平 は。

蘭子 万が一、あんたがここにいるうちにあたしが死んだら、ここに電話して欲しいの。ねえ、聞いてる？

典平 聞いてないし。

蘭子 50万。(金庫から現金を取り出して見せる)

典平 は???

蘭子 電話するだけで50万。はい、見た、聞いた。

典平 見てないし聞いてないし。

蘭子 (50万とメモを金庫に入れて鍵をかける)はい。(赤いリボンのついた鍵を鼻先に)

典平 え。

蘭子 (金庫をさらに洋服ダンスの奥にしまいながら)あたしが死んだらこれでここ開けて、さっきのメモんとここに電話して。お金はどうしようとおんたの勝手。

典平 盗んだら??

蘭子 え。

典平 俺が、あんたが生きてるうちに。

蘭子 恨む。(鍵を渡す)

典平 …やめて。(思わず受け取る)

蘭子 はい、契約成立。

典平 (鍵を掲げて)…これ、誰の電話番号なんですか？

蘭子 実家。

典平 じつか。仲悪いですか？

蘭子 鬼嫁がいるの。

典平 おによめ。

蘭子 六年前にね、弟が死んだの。

典平 …ご愁傷様です。

蘭子 そしたら豹変したの。嫁に来たときはかすみ草みたいだったのに。

典平 鬼になった。

蘭子 そう。もう実家にあたしの居場所なんかどこにもないの。

…てか本当、死んだら、だからね。行方不明とか植物人間とか、そういうの適応外だからね。

典平 (リアクション)

水たまりを飛ぶようにステップを踏み、部屋に戻る蘭子。

■現在(12/11)篠沢

現在。事故翌日。

と、ドアを叩く音。開けると、小奇麗な中年の男。

典平 はい。

篠沢 あれ？あの…

典平 はい？

篠沢 あや、いいです。間違いました。(目礼してドア閉じる)

典平 (目礼してドア閉じる)

再び、叩く音。

典平 はい。

篠沢 あの…「こ」は…

典平 はい？

篠沢 緑山さんは…

典平 入院してます。

篠沢 あゝ！

典平 ！？

篠沢 やっぱりか…ああ… あの。あや、すみません、前に「こ」に住んでたものなんです、新聞を見て、もしやと思って

…あゝ

典平 ルームシェアの？

篠沢 はい。

典平 見るからに大人の、ちゃんとした人だった。もしや…と思って、上がってもらった。

部屋へ。名刺を出す男。

典平 篠沢…

篠沢 たもつと読みます。

典平 塾の先生？

篠沢 はい。

典平 何教えてるんですか？

篠沢 国語です。専門は古典。

ヒナコ 「こ」てん！

篠沢 え？

ヒナコ 何教わったか全然覚えてません。

典平 おい。

篠沢 そんなもんです。(満面の笑顔)えっと…

典平 あ、有村典平といいます。

篠沢 あ、サザエさんの…

典平 それは波平。

篠沢 すいません、

典平 (笑)

典平 この人は信用していい。そう感じた。から、話した。今困ってることを全部、話した。

篠沢 サインですか。

典平 はい。あの…時間があるわけではない、って言われてて…

篠沢 しますよ、サイン。

典平 え。

篠沢 蘭子ちゃんにはすごく世話になりました。そんなことでよければ、もう。

典平・ヒナコ（見合わせて安堵）

典平 あの…よければ。

篠沢 うん。行こう。

典平 篠沢さんは車を持っていた。○○○(車種)。新車っぽい。車内きれい。すげー。普通に大人。

病院。

典平 看護師さんに頼んで病室に行った。俺とヒナコは、怖くて病室には入らなかった。

集中治療室の廊下。

ヒナコ ねえ。

典平 ？

ヒナコ あの人、コレ(手をオカマの形に)だよな？

典平 は？

ヒナコ そうだよ、きつと。

典平 だから何だよ。

ヒナコ 聞こえよ、あとで。

典平 はあ？

ヒナコ こめん。…長いね。

病室を覗きに行くヒナコ。

蘭子の寝台の横の丸椅子に座っている篠沢。

典平 篠沢さんは20分以上、そこにいた。蘭子さんと話せるわけもないのに、ただ座ってた。出てきた篠沢さんの目は真つ赤だった。それを見て、ヒナコが泣いた。

■(現在 12/11・翌日)サイン

事務 3割負担でこちらの金額。これは高額医療の上限に達しますので、申請して頂ければ、これだけ戻ってきます。…ちなみに保険証をお持ちでない場合は…このくらいの金額になります。

事務室。提示された金額に驚き、目を合わせる典平とヒナコ。と。

篠沢 了解しました。

事務 ではこちらをよくお読みになって、よろしければこちらに。

篠沢 はい。

一読する間。サインをする篠沢。

事務 いつ急変するかわからない状況ですので、こちらも安心しました。

篠沢 緑山さんは私の大事な友人です。どうぞよろしく願います。

典平・ヒナコ（見合わせて安堵）

事務 それで…取り急ぎこれだけ入金して頂きますでしょうか。

篠沢（差し出された明細を見る）

典平・ヒナコ ……

篠沢 わかりました。近日中に、必ず。
事務 よろしくお願いします。
篠沢 こちらこそ、よろしくお願いします。
典平・ヒナコ ……よろしくお願いします。

■(現在 つづき)大人の実情

ファミレス的なところ。篠沢・典平・ヒナコ。

篠沢 ……奇跡を、信じるしかないね。

典平 はい。てか、ありがとごさいました！本当に助かりました。

篠沢 何？

典平 なんか、大人の人が出てきてくれて、安心して。

篠沢 どのくらい？

典平 え。

篠沢 住み始めて。

典平 一年半です。篠沢さんは…

篠沢 僕はね、三年前から、まる一年。一年でね、追い出されちゃった。

典平 え。

篠沢 毎日怒鳴られたけど、今思えば楽しかったな。土砂降りの中、DVD返しに行ったり。

典平 もしかして千円くれました？

篠沢 くれたくれた。〇〇したら〇〇円とか。

典平 おんなじです。

篠沢 おんなじか。

典平 はい。

篠沢 じゃもしかしてあれは？

典平 はい？

篠沢 もしものときに、実家に連絡するバイト。

典平 ……はい。

篠沢 じゃ鍵、預かった？

典平 はい。

篠沢 (片手を広げて50万を表すだよな？)

典平 ……はい。

篠沢 そのお金をさ、さっきのあれに使わない？

典平 入院の？

篠沢 うん。

典平 え……え？？

篠沢 もともと本人のお金なんだし、問題ないと思うんだ。

典平 そりゃそつですけど…え？

篠沢 実は僕、今収入がなくて。

典平 え？だって塾講師は？

篠沢 行つてないんだ。

典平 え。

篠沢 休んでるんだ。三ヶ月。もう戻る気はないんだけどね、なかなかふんぎりがつかなくて。

典平 え…じゃ無職？

篠沢 まだ違つよ。でもまあ、実質そつかな。

典平 え…ええええええ？

典平 そこから一気に愚痴になった。塾の文句、塾に来るごども文句、塾で扱うテキストの文句、

典平 え？じゃ、大人のひきこもり？登校拒否？

篠沢 大人だってキツいんだよ！おんなじだよ！いやそれ以上なんだよ！夢も体力もある君らよりずっとキツいんだよ！

典平 じゃ何でサインなんかしたんだよ！

篠沢 しなきゃどうしようもなかったじゃないか！

典平 ええええええ。ええええ？

篠沢 こうしよう！さしあたりさ、あれで払っとく。僕、ちゃんと辞めたらすぐにも次の仕事探す予定だから。そして(片手を広げて)ちゃんと戻すから。

典平 だってあれは、俺がもろうはずの…

ヒナコ へいちゃん。

典平 だって…

篠沢 じゃ、行こう。

■現在 つつきめの金庫

蘭子の部屋。

金庫の前に、典平＋篠沢。

証拠写真として2人の写メを撮るヒナコ。

篠沢 じゃ、開けるよ。

典平 いや、俺が。

篠沢 そう？

開錠。50万円を取り出す典平。

その様子も写メで撮影するヒナコ。

典平 本当に返してくれます？

篠沢 もちろん！でも何？これアテにしてるの？

典平 え。

篠沢 死ぬの待ってるの？

典平 そんなんじゃないですけど。

ヒナコ (金庫を手にもこれ、閉めちゃうよ。

篠沢 すぐ仕事決めるから。それまでだから。

典平 まず辞めるところからなんですよ？

ヒナコ 閉じますよ？

典平 うるさいな。

篠沢 そんな言い方ないだろう、恋人に。

典平 恋人じゃないです。

篠沢 そんな言い方ないだろう、女の子に。

典平 あんたに言われたくない。

ヒナコ しまっちゃうよよ。

2人 どうぞー！

■現在 12/11(カサネタイム)

典平 篠沢さんは一日おきに病院に通った。そして洗濯ものを持ち帰り、バリツと洗って持ってきた。その勤勉さで就職すればいいのに、と思った。てか言っちゃった。

軽やかに踊る篠沢。

篠沢 本当だねえ。なんでそうできないのかなあ。てかさ、ごはん食べた？
ヒナコ まだです。

篠沢 一緒に食べない？僕つくるから。(スーパーの袋を見せる)

ヒナコ いいんですか？

篠沢 いいのいいの！ひとりで食べるよりずっといい！キッチン借りてもいいかな？あ、魚大丈夫？ブリの塩焼き。

ヒナコ 大好きです！

篠沢 よし！

台所に行く篠沢。

ヒナコ やっぱゲイだね？

典平 関係ないだろ？

声 におい

声 焼く

声 焼ける

声 魚の

声 夕方の

声 焼ける

典平 篠沢さんは料理が上手だった。一日おきの病院帰りに買い物してやって来た。そしてめしを食いながら同じ会話を繰り返した。

別の日。

篠沢 これは牡蛎のチーズ焼き、お味噌汁は〇〇と〇〇！

典平 ねえ塾行つた？言えた？

篠沢 きょうは絶対行くつもりだったんだけどね、ランドリーが混んでて間に合わなかったんだ。

別の日。

篠沢 これは〇〇〇〇、こっちは〇〇〇

典平 行つた？言えた？

篠沢 あゝ電話したんだけど塾長が出張でね、きょうが都合よかつたんだけどな

典平 本当に辞める気あるの？

篠沢 あるよ！てか君に関係ないよね？

典平 あるよ！

篠沢 何で。

典平 50万、返してもらわなきゃ。

篠沢 君のお金じゃないだろう？

典平 でも、あんたの金でもないよね。

ヒナコ アテにしてるんだ。

典平 え。

ヒナコ 死ぬの待ってるんだ。

典平 …

チーン！

篠沢 できた！

典平？

篠沢 ミートグラタン！焼きあがったよ！まあさ、食べてから話そうよ。

篠沢、台所へ。

ヒナコ へいちゃんさ、バイト増やせばいいのに。

典平 増やすよ。

ヒナコ っつてずっと言ってる。

典平 増やすよー！

ヒナコ なんかついたら実家に電話すればいいもんね。

典平 ……

ヒナコ 謝らないよ。

篠沢、グラタンを抱えて戻って来る。

篠沢 あれ？まだやってた？

典平・ヒナコ ……

篠沢 ……おいしいよ。ね？

ヒナコ 返して。

典平 え。

ヒナコ お金。

篠沢 ？(典平を見る)

ヒナコ つきあい始めた頃に1万、夏に2万、10月に3万貸したよね。

典平 そっだったっけ？

ヒナコ ダウンジャケット買ったってって貸した5万円と(買ったとき貸した)(万円はもういい。だけど普通に貸した6万円は返して)。

篠沢 ええええ！典平君、そりやダメだ。

ヒナコ もうこういうのやめたいの。彼氏に言われたらすぐ貸しちゃうっていうの、やめたいの。

篠沢 ええええ？ヒナコちゃんもダメだ。

ヒナコ ダメダメダメ、わかってる、でもダメなの！

典平 なんかさ、家にながら出来る、人と関わらない、でもたくさん儲かる仕事ないかな。

ヒナコ そんな仕事ある？

篠沢 500円が50万円になる仕事なら知ってるけどな。

典平 まじっちなっ？

篠沢 カブトムシ。

典平 は？

篠沢 カブトムシの繁殖。

典平 育てればいいの？それ売れるの？

篠沢 うん。

典平 ……やったことあるの？

篠沢 うん。まずホームセンターでカブトムシのつがい買ってくるの。これが500円。あとは衣装ケースに土入れて普通に飼ってればひと夏で数十匹になる。

典平 すげー！

ヒナコ じゃ、もしかしてお金持ち？

篠沢 それが。

典平 え？

篠沢 カブトムシは暑さに弱いんだよね。だからエアコンを常に25度にしとかなきゃいけないのに…

ヒナコ まさか…

篠沢 ある日帰ってきたらぜんぜんひっくり返ってて…まるでキャラメルコーンが散らばったみたいで…ヒナコ やめてください。

篠沢 で、カブトムシはダメだったことで、違うものにしたの。アフリカツメガエル。

ヒナコ え？

篠沢 実験に使うカエル。病院・施設で買い取り契約してくれるの。これ年収400万円。

典平 すげえ。

ヒナコ それは今も…

篠沢 卵たくさん産ませるためにね、定期的にホルモン注射打つの。メスガエルの脚に。なんかね、可愛いそうになっちゃって。こうまでして生んだ卵の行き先が全部実験施設とか。

ヒナコ はあ…

篠沢 そうこうしてたらまたエアコンの温度を…

ヒナコ もういいです。

典平 (寝転がって携帯を眺めながら)これどうかな？デリヘル嬢の送迎。

篠沢 それも大変だよ。

典平 え？

篠沢 タイムキープと集金もしなきゃだし、頭おかしい女の子の話ずっと聞いてやったりもあるし。

典平 やったことあるんですか？

篠沢 生きてくって大変だよ。

典平 …俺ね、大人になったら普通に会社行って普通に結婚して普通に二戸建てに住むって思ってた。

篠沢 思ってた思ってた。(一緒に寝転がる)

典平 普通になれない。

篠沢 なれない、なれない。(笑)

ヒナコ 待って。起きて。そして動いて。

典平・篠沢 え。

ヒナコ 仕事はたいへん。なんでもたいへん。

典平・篠沢 (リアクション)

声 起きて。

声 動いて。

声 動いて。

声 起きて。

◆(回想 去年12月)おっぱい

典平 ねえ。

蘭子 何？

典平 すんげえ聞きたかったんだけど…

蘭子 何。

典平 なんでもいつもおっぱい揉んでんんですか？

蘭子 ああ。ほら。

典平 え？

蘭子 ほら。

典平 いや、まじで勘弁。

蘭子 (強引に手を取り、自分の乳房に当ててる)

典平 …かてえ。え？病気？

蘭子 つくりもの。

典平 え？そこも？

蘭子 失敗した。ケチったら、カチカチ。だからね、しょっちゅう揉んでないとつらい。

典平 痛いんですか？

蘭子 痛い。めっちゃ痛い。

典平 つくりものって痛いの？

蘭子 おっぱいでつかくするのにはいくつも種類があるの。手軽にやれるのがヒアルロン酸、自然に見えるのが自分の脂

肪、ばばん！と変身できるのがシリコンバッグ。あたしはばばん！と変身したからシリコン入れたの。

典平 えええええっ？

蘭子 でもウケたよ。

典平 誰に？

蘭子 職場の人とお客さんと…そんなときのカレシ？

■現在(2/21)町内清掃

ドアを叩く音。

大屋姉 どげんね？

典平 あ、はい！

大屋姉妹。篠沢も横から顔を出す。

大屋姉 あら、

大屋妹 あら、

篠沢 (しやしやり出る)お久しぶりです！

大屋姉 (すこく嬉しそう)まあひさしぶり！元気やった？

篠沢 はい。お2人もお元気そうで。

大屋妹 なん、心配して来たと？

篠沢 はい。

大屋姉 あーたが来たならもう安心。

大屋妹 (典平に)よかったね。

典平 …はい。

大屋姉 で、くさ。

大屋妹 これ。(チラシを渡す)

典平 町内大掃除。

大屋姉 蘭子さんな毎年きちらーんと出とんしゃったけんね、今年はあーたが代わりに出らんばよ。

大屋妹 頼んだばい。

大屋姉 なら篠沢さん、また。(嬉しそう)

篠沢 はい、お元気で！

典平 まじかよ。なんだこれ。

篠沢 決まりだよ。

典平 え。

篠沢 住んでる人間の、決まり。

典平 めんどくせえ。

篠沢 そういうの、蘭子ちゃんがオキテたら、いちばん怒るといだよ。

典平 今、生きてたらうって言った？

篠沢 「生きてたら」うって言ったよ。

典平 生きてたらうって言った。ね、言ったよね？やっぱあんたも思ってたんだ。

篠沢 なんて？

典平 だから。

篠沢 思っていないよ！

大屋姉 では今から8時半まで、各自で気になるところを掃除して下さい。

大屋妹 ごみ袋は「ちら」。ごみは「ちら」で収集します。

2人 よーい……スタート！

町内清掃。

典平 町内にこんなに人が居たのか。

夕方、いつも庭に立ってるじいさん、朝、いつも自転車の前と後ろに「ごも」を乗せて走ってる女の人、

大屋姉 そのへんは元から住んどんしゃる人、

典平 日焼け対策万全の奥さん、何をしていいかわからない感じの旦那さん、

大屋妹 あのへんはマンションの人、

声 普通の、

声 ふつつの、

声 あたりまえの、

声 きまり

典平 篠沢さんはスコップや箒を使って生き生きと掃除してた。俺は座り込んでそのへんの雑草をむしって時間をつぶした。そして俺たちは「褒美のビールをもらって帰った。

■現在 つづき(怖い)です。

その日の夕方。部屋。

篠沢 いや、働いたあとのこはんはおいしいね！

典平 (リアクション)

篠沢 このビールは働いた証じゃないか。

典平 そのビールのせいで、俺たちはちょっとだけしゃべり過ぎた。

篠沢 え、オーディション？

典平 うん。

篠沢 どんなんぞんな？

典平 映画の、つても全然メジャーな監督じゃないんだけど。

篠沢 いいじゃん。すごいじゃん。

典平 噂じゃ100人近く受けて、最終に進んだのは5人だけって聞いて。

篠沢 すごいすごい。で？

典平 オーディションの後、監督に…

監督 会えてよかった。

典平 え？

監督 すんごくイメージに近いの。ほんと、会えてよかった。

篠沢 うわあ、すごいじゃん。嬉しかったろ？

典平 はい。

篠沢 どんなんぞ？

典平 一瞬しか出ないんですけどね。

篠沢 いっしゅん？

典平 あ、でもね、結構キーパーソンなの。大事なせりふ言つもの。

篠沢 どんなんぞ？

典平 「怖い」です…

篠沢 え？

撮影現場。

典平 「怖いです！」

監督 もう一回。

典平 「怖いです！」

監督 もう一回。

典平 「怖いです！」

監督 もういいや。

典平 え？

監督 なんか…違った。間違えた。

典平 …え？

監督 もう少しなんか出してくれるかなって思ったんだけど。

典平 もう一回、やらしてもらえませんか？

監督 ん……変わんないと思う。

篠沢 おろされたの？

典平 うん。

篠沢 ひでーや！

典平 仕方ないよ。違ったんだし。

篠沢 そこをなんとかするのが監督じゃないの？

典平 それじゃ先生だし。

篠沢 みた？

典平 え。

篠沢 出来上がった映画。

典平 みたみた。

篠沢 その場面あった？

典平 あった。

篠沢 どんな奴がやった？

典平 なんかねえ、げろげろしてた。

篠沢 え。

典平 じゃがいもみたいな顔した奴がさ、汗だくで、つば飛ばしながら、「怖いです！」

篠沢 わー。

典平 うん。なんかさ、あんなんでよかったのかあって。言ってくれたらやったのについて。

篠沢 だよねえ！

典平 ……てか、行った？言えた？

篠沢 ノロだったて。

典平 え???

篠沢 ノロウイルス。出張先で弁当に当たったんだって。

典平 塾長さんが？

篠沢 うん。

典平 嘘だよね。

篠沢 なんで？なんで嘘言う必要があるの？

典平 俺もカエル飼ってみようかなあ。

篠沢 大変だよ、ヌルヌルしてる上にすんごい筋力だからさ、刺さんないの、注射。

典平 (リアクション)

◆(回想 今年2月)転職

回想。今年の春。

蘭子 ねえ、バイトしない？
典平 え？

前場面のまま、そこに居てテレビを見るように眺めている篠沢。

蘭子 あんた帰って来るの明け方じゃん。だからあたしを毎朝5時に起こしてくんない？
典平 いいですけど…なんで？

蘭子 仕事。変えたの。
典平 仕事？看板屋？

蘭子 6年もいたんだよ。なのにね…あ、違う、6年居たからもう充分ってことが。
典平 大変だね。

蘭子 ねえ、ちよつとどう思う？
典平 え。

蘭子 これ明日までに全部おぼえろって。
典平 え？

典平 それは見慣れたファミレスのメニュー。

典平 大変だね。

蘭子 読んで。
典平 え。

蘭子 メニューの最初のほう読んで。あたし続き言うから。
典平 なんて？

蘭子 覚えなきゃだから。
典平 え？

蘭子 読んで。
典平 秋鮭の…

蘭子 五穀米御膳。
典平 はい。じゃ、きのこづくしの…

蘭子 クリームチーズグラタン。
典平 はい。じゃ、牛スネ肉の…

蘭子 あくなんだっけ、
典平 ぽ。

蘭子 え？
典平 ぽ。

蘭子 ポトフ！ポトフだ、すねポト。(言いながら喉をさすっている)
典平 …

蘭子 てかさ、ちよつと「」をわって。(喉を突き出す)
典平 え。

蘭子 腫れてない？
典平 えー。

蘭子 10000円。
典平 (さわる)右も左も変わんないと思うけど。

蘭子 ほんと「」じゃっ
典平 うん。

蘭子 何かね、こう、飲み込むたびに、ポンポン玉がつつかえてる感じで。

典平 それヤバいんじゃない？
蘭子 だよ？

典平 何か…ガン…

蘭子 ガー…（止める）

典平 病院行ったら？

蘭子 そうする。すぐ、そうする。

典平 そして翌日。

典平 どうしたの？

蘭子 …

典平 病院行っただろうだったの？

蘭子 …

典平 まさか…

蘭子 何も無いって。

典平 え。

蘭子 どうも無いって。

典平 でもピンポン玉が。

蘭子 何にも無いのがある気がするだけなんだって。

典平（現在・篠沢に語る）ヒステリー球って言うんですってね。喉にすんごいでっかい何かがつつかえてる。でも気のせい。切り開いたって何も無い。気のせいの病気。

声 ヒステリー

声 ヒステリー

声 リー

声 リー

声 きゅー

声 きゅー

声 きゅーきゅーきゅーきゅーきゅー

母の声。

母 何年も、たうだ回「う」におっせえ…

典平 こめん、今年も帰れん。

母 何しちよつとかしらんけど…

ヒナコの声。

ヒナコ ねえ、いつ行く？

典平 は。

ヒナコ 東京。

典平 行くよ。

ヒナコ 春にはもう回「う」。

典平 …

ヒナコ 怒らないで聞いてね、知りたいだけなんで。

典平 その話、今する？

ヒナコ …いや、いいえ。

篠沢の声。

篠沢 てかさ、何で俳優なの？

■(現在)地方の地方

気付けば部屋。テーブルに旨そうな皿がいくつも並んでいる。

典平 え？

篠沢 どうぞどうぞぞ。

典平 …どうも。

「いただきます」。食べ始める二人。ゆげ。香り。におい。

篠沢 だからさ、何で俳優なの？

典平 俺ね、自分で言うのも何だけど結構モテたの。謎めいてる、とか言われて。

篠沢 わかるわかる。

典平 でも普通に就職して。地域じゃ有名なドラッグストアで。そういうとって、若いのは最初、みんな、地方に回されるの。地方って、既にそこも地方なんだけど、

篠沢 地方の地方。

典平 そうです。

「地方の地方」の常連さんたちの声。

おば んだもしたん、よかにせどんが来ちよつがね！

おば 仕事(じごう)に活気が出いねえ。

典平 でもそのうち、

おば おまんさあ、つらだけじゃ世間(うげけん)な渡(わ)つちいかれんど。

おば じゃいよ、もちつと肥(こ)えんなら。

典平 何してるんだらうって思うようになった。俺、一生(いせい)で大人おむつの配達して生きていくのかって思って、

篠沢 飛び出した。

典平 …ならよかったんだらうけど……………4年勤めた。

篠沢 ……長いね。

典平 彼女も出来てさ、もうこのまま結婚してもいいかなとか思ってた。でも、

彼女 ほいでよ、小枝子ちゃんわかるけ？

典平 あゝ看護師さんの？

彼女 じゃったじゃった！結婚すったうち。10月。

典平 その瞬間、何かが弾けた。もう充分、って思った。何がもう充分なのかわかんないけど、そう思った。

気がいたら東京に居た。

篠沢 彼女は？

典平 ごめんって言った。

篠沢 えええ？

典平 そつからさあ、もう頑張ったんだよ。ようやく小さい事務所に所属して、ああこれで何とか居場所がって。篠沢 いくらへんかい貰えるの？

典平 え。

篠沢 そついう事務所。

典平 全う然！てかレッスン料とかで毎月かなり払ってた。
篠沢 じゃバイト？
典平 うん。なんかね、だんだん何してつかわかんなくなってた。
篠沢 …でもまた戻る。
典平 ……うん、もっかいだけ。
篠沢 帰らない。まだ。
典平 ……うん、まだ。

◆(回想 今年6月)里帰り

回想。今年の初夏。

蘭子 ねえどうしよう。
典平 え。
蘭子 父親がやばいみたい。
典平 え。
蘭子 いやいよみたい。
典平 帰るんですか？
蘭子 まさか！弟の葬式にも帰ってないのに。
典平 ……
蘭子 帰ったほうがいいと思う？
典平 ……
蘭子 どう思う？
典平 いいチャンスなんじゃないですか。
蘭子 何の？
典平 鬼嫁と…仲直りする。
蘭子 ……(くるりと部屋へ)

大慌てで何度も部屋を出入りする蘭子。
大荷物を抱え、ドアへ。

典平 蘭子さんは準備を始めた。そして翌朝、まだ暗いうちに出掛けて行った。

出て行く蘭子。

部屋。ヒナコが来ている。
めっちゃ抱き合う2人。
足音。

2人！

ガチャガチャ…ガチャ。ドアノブに鍵を突き刺す音。

2人！

蘭子 ちよつと一前の晩から生ゴミ出すのをめめてって言ったよね…

ドアが開く。蘭子。典平+ヒナコ。

典平 あ……………

蘭子 ……………文句言われるのあたしなんだから。まじでやめて。
典平 すみません。

ヒナコ あ、あの、

蘭子 (典平に) はい、おみやげ。

典平 どうも。(「くまモンCD」)

蘭子 もっぴっくりよ、駅から町からくまモンだらけ！

ヒナコ あの、あたし、

典平 どうでした、おとうさん。

蘭子 ……たいしたことなかった。おおげさにさ。

典平 そうですか。(CDをフジカセ)。流れ始める「くまモン体操」

蘭子 新幹線で行ったんだよ！交通費出させてね、もう。

典平 会いたかったんじゃないですか？

蘭子 ま、わかんないけどね。

典平 え。

蘭子 わかんなくなってたからね。

典平 あの…

蘭子 ポケてたあ。あたし見ても無反応。ま、ポケる前からあたしには無反応だったけど。

ヒナコ ……

蘭子 てか、義妹！フケてたあ！田舎は時間が早いね。甥っ子は甥っ子で太ってたあ。ずーっとね、ジュース飲んでんの。
ゲームとジュース。ゲームとジュース。うち田舎だけどさ、外で遊べないんだね。山は危ないし、オモテは国道だし。
ダメだよねえ、都会の子のほうが動いてんじゃないかな、今。

二人 ……

蘭子 てかさ、セックス。

2人 ……?

蘭子 ここでは禁止。絶対。いい？

典平 (うなづく)

ヒナコ あ、あの…法村と言います。その、典平君の…

典平 ともだち。

ヒナコ です。

蘭子 どうも。

ヒナコ ……

蘭子 (おっぱいを見て) でかいねえ。

典平 天然です。

蘭子 (舌打ち) ねえ、お風呂入ってもいい？

典平 え。

蘭子 あたしの時間じゃないけどさ、入ってもいい？

典平 全然。

蘭子 さんきゅうー。

声 もんもんもん

声 くまもん

声 くまもん

声 ささ。ぶ。らい。ず

典平 蘭子さんは、その日から、少しずつ壊れていった。

◆(回想 今年7月)泥棒

ア、ア、ア、ア、ア、ア、ア、ア、

典平 はい？

興奮した様子の大家姉妹。

大家姉 何もなかった？

大家妹 昨日の夜。

典平 え。

大家姉 泥棒。

大家妹 泥棒が入ったとよ、1階の端っこの、学生さんの部屋。

典平 まじですか？

大家姉 腕時計と、なんか高ーか(たかーか)本盗られたって。

大家妹 幸い出掛けとらしたけんよかったはってん、もし部屋に居たら、ねえ。

蘭子 犯人は。

大家姉 まだとよ。

大家妹 ほんつと戸締りば気をつけてね。

そわそわしたす蘭子。

典平 どうしたんですか。

蘭子 あいや、何からしたらいいのかなって。

典平 普通にしてればいいんじゃないですか？

蘭子 何で言い切れんのよ。

典平 翌日、蘭子さんはマンシヨンの周囲に花を植え始めた。

◆(回想 つづき)花を植える

大家姉妹とともに花壇を作っている蘭子。

蘭子 おかえりーどっつ？

典平 どっつて。

蘭子 あのね、花を植えると泥棒が来ないのよ。

典平 え。

大家姉妹 ですって。

蘭子 泥棒。ゴミ出す日でもないのに新聞紙積んでたり、雑草ぼうぼう生やしてたりするのがいちばんいけないんですって。

大家姉妹 ですって。

蘭子 あ、こちもつと土かけて下さい。

大家姉 あ、はいはい、

夜。

蘭子 ああもう泥だらけ。(服をバタバタと)

典平 ちよ、はたかないで下さいよ。

蘭子 あゝゝゝ(わざとバタバタする)

典平 ちよ、

蘭子 あゝあゝあゝ

典平 なんでそんなに怖いんですか？

蘭子 じゃああなたが、なんとかしてくれるの？

典平 ……

しきりに喉を撫でている蘭子。

典平 ……またつかえてるの？

蘭子 うん。でもこれ気のせいなんだよ。あたしの気が起こしてるんだよね。

典平 キィキィ言ってるからじゃないですか。

蘭子 え。

典平 ヒスアリー起こすから叫ぶなって言ってるんじゃないんですか、喉が。

蘭子 ……

典平 ……

蘭子 そうかも。そうだ。息するなって言ってるのかな。

典平 そこまで言っていないよね。

■(現在 12/17)擡縮

現在。事故から7日後。

医師 脳血管擡縮…。脳の血管の痙攣です。これを起こすと、脳に血液がうまく回らなくなってしまいます。

典平 危ないんですか？

医師 このままでは脳が腫れて膨れてしまいます。例えば、パックの中の豆腐が膨らんでパックを押ししてしまうような状況です。

典平 それは、手術しなきゃいけないような…

医師 はい。頭蓋骨の一部を外して、脳の腫れを減らす処置をします。

ヒナコ ……

篠沢 後遺症の心配は。

医師 かなりの確立で起きる可能性があります。

典平 手術しなかったら、

医師 クモ膜下出血のような状況になる可能性があります。その場合、命に関わる状態になる可能性があります。

声 可能性

声 可能

声 不可能な

声 可能性

事務長 こちらをお読み頂いて、よろしければこちらにサインをお願いします。
篠沢 わかりました。

サインする篠沢。

声 可能性

声 可能

声 のう

声 不可能な

声 のう

入院病棟の廊下を歩く三人。

病室に入る篠沢・典平・ヒナコ。

篠沢 来たよう。

典平 二週間ぶりに会う蘭子さんは、ぴかぴかしてた。なんていうか、ぴかぴかしてた。

篠沢 点滴ってすいだろっ。

典平 え。

篠沢 何日も食べてないのに、こんな風に生きてられるんだもんね。

典平 なんか…印象が違っただけど。

篠沢 こじじゃない？(自分の眉間を指して、しかめ面をする)

典平 え。

篠沢 10日も怒らないで眠ってるって、消えちゃうんだね。

典平 うん。

篠沢 点滴エステ。(蘭子に)得したねえ(笑)

典平 眉間がほどけた蘭子さんは、いつもよりずっとめどけなく見えた。それがなんかやるせなくて、イライラした。

ヒナコ やっぱり連絡したほっが…

典平 え。

ヒナコ 実家。蘭子さんの。だってもし手術が…

典平 ……

篠沢 僕が掛けるよ。

典平 …いや、俺が掛けます。

典平 俺たちはあの、小さな金庫を開けた。

部屋。

再び洋服ダンスの前・開ける・取り出す…を写メに撮るヒナコ。儀式のように、2人。

典平、メモを取り出し、ヒナコに渡す。

ヒナコ 099999…

典平 09999999999999

ヒナコ …熊本県…八代郡？

■(現在 つづき)義妹

女性の声。「熊本・八代弁」

義妹 はい、緑山です。

典平 あ、有村と申しますが…その…緑山蘭子さんの知り合いなんです。

義妹 何でしょうか。

典平 あの、蘭子さんが事故に遭って…

典平 その声はやわらかく、思ってた声とだいぶ違った。

義妹 いつですか。

典平 10日です。もう二週間になります。

義妹 容態は…

典平 頭を強く打って…重症で。

義妹 ああ…ひよ、病院は教えてもらってますか？

典平 はい、いいですか？

義妹 あ、ちよつと待って下さい…エイジ、えんぴつ…

蘭子 そりゃあもうびっくりしたよ！

回想。今年の初夏。

典平 え。

蘭子 鬼嫁。鬼がね、悪魔に成長したよ……何？

典平 あんま聞きたくないなって。

蘭子 聞いてよ！千円やつけん。(千円渡す。すかさず話し出す)

蘭子 10年ぶりに帰ったそこは知ってる故郷じゃなかった。すっかり変わっちゃった。

町にひとつしかなかった病院も、院長の高齢化とかで閉じっちゃった。

酒屋からコンビニに店換えしたはずのところが閉店して、雑草の生えとった。

義妹 たまねぎひとつ買うとにも、車出してイオンまで行かなくて。

蘭子 まだ30そこそこのはずの義妹の眉間には、田舎のおばさんみたいな深いしわが出来とった。

義妹 あたしが勤めに出ればよかいですばってん、おとうさんが…。

蘭子 そうね。

義妹 帰って来てもらえんでしょつか。

蘭子 え。

義妹 帰って来て、おとうさんのめんどろ見てもらえんでしょつか。

蘭子 送るけん、お金。

義妹 そんなんじゃないよ。

蘭子 あたしじゃおとうさんも喜ばんでし。

義妹 きつかいですよ。

蘭子 え。

義妹 きつかいです。たいぎやきつかいです。

なんで嫁に来ただけで、旦那もおらんとに、ここに縛られて、実の親でもなか人の下の世話までせなんかて思ってますよ。

蘭子 無理。

義妹 ……

蘭子 ……無理。

義妹 なら、縁は切ってもらえんですか。

蘭子 え。

義妹 土地も財産も要らんで、一筆書いてくれんですか。

蘭子 ……わかった。

義妹 連絡せんですけん。

蘭子 ……

義妹 おとうさんが死なしても、もう、連絡はせんですけん。

蘭子 わかった。

義妹 よかですな、自由で。

蘭子 じゃ、なれば？

義妹 え。

蘭子 あたも自由になれば？

義妹 ……ほんつと、自由ですな。義姉さんは。

蘭子 え。

義妹 俊夫さんがいつも言いよらしたです。

蘭子 苦労は人ば変ゆるなえ。もう行かん。二度と行かん。

典平 実家？

蘭子 行かんいかんいかん。のっとられたもん。あの女がのっとったもん。

部屋に引っ込む蘭子。

声 あゝ

声 あゝ

声 あゝおゝ

声 おゝえゝ

声 えゝ

弟 ねえちやゝん！

◆(回想)今年の晩秋(弟)

(回想)今年の晩秋。

蘭子の回想。幼かった頃の弟の声。

弟 ねえちやゝん！

典平 2人兄弟？

蘭子 うん、2つ違い。どゝ行くにもついて来て、うざかったあ。

弟 ねえちやん！

蘭子 何。

弟 ねえちやん！

蘭子 何ね！

知らんこつだらけ。したかこつだらけ。思い返すと一年中夏だったこたる気のする。

弟 ねえちやん！

蘭子 走ってはしってはしって、

声 走ってはしってはしって、

蘭子 走って走って…

声 走ってはしってはしって、

声 あゝ

声 あゝ

声 がんばれがんばれ、

声 あゝあゝ

声 学校行こう、

声 学校行こう、

声 学校行こう。

蘭子 6年前、そんなときおうつとした人に薦められて健康食品の販売を始めた。たいぎや儲かったと。

で、調子に乗って弟にも薦めた。下の子が出来たばかりで、お金要るだろうと思って。

今思えば、どう考えたってマルチだったとよね。成績が上がらんこつになった頃、男はおらんこつになった。2人で貯めた金は全部おろして、どっかに消えてしまった。

たいぎやたくさんのは巻き込んだけん、もつどんこんしんしんなかった。

信用ば失った弟は、地元でしよった仕事ばやめないかんこつになった。

蘭子 ……

弟 しょんなかよ。

蘭子 ……

弟 姉ちゃんも被害者だもんね。

蘭子 ……どがんすると？

弟 え。

蘭子 仕事。

弟 来週面接。

蘭子 どこ？

弟 熊本市内の会社。

蘭子 市内？？

弟 高校ん友達がおきいてくれてね。たぶん大丈夫。

蘭子 何関係？

弟 営業で。

蘭子 あんたがしきると？

弟 してみらにやわからんたい。

蘭子 たいぎやかかっど？

弟 え。

蘭子 時間。

弟 うん。往復3時間。ばってん、車だけん。

蘭子 ……

弟 姉ちゃんはどうがんすっど？結婚するつもりだったっどろ？

蘭子 まあね。

弟 ……

蘭子 ばかよねえ。

弟 仕事は？

蘭子 福岡に…行こうと思うて。

弟 福岡？なんで？

蘭子 明太子、好きだけん。(笑)

弟 姉ちゃんさ、困ったらすぐ次に行くよね。

蘭子 え。

弟 昔からよね。顔まで変えて、次に、次に。俺はずーっと、ここで、こんまんまで。

蘭子 ……

弟 てね。…ごめん。愚痴。動きたかなら自分で動け、てね。

蘭子 どがんすればよかとかな。

弟 ……姉ちゃん、変わらんね。

蘭子 は。

弟 絶対、ごめんて言わんよね。

蘭子 ……そうかな。

弟 しょんなかよ。

蘭子 え。

弟 俺も姉ちゃんも、しょんなか…つでぎやっどよ。

蘭子 しょんなかか。

弟 うん、しょんなか。

蘭子 居眠り運転だったて。往復二時間、慣れん残業。雨のざんざん降る夜中にね、ガードレールに突っ込んで。

お葬式に行っきらんだった。

どんツラ下げて行けばよかわからんで、行ききりんだった。行ききりんだった。

典平 マンションの駐輪場の自転車を全部並べ直してた。そのせいで遅刻しても、全部が並ぶまで途中でやめたりしなかった。

声 あゝあゝあゝ

声 がんばれがんばれ、

声 学校行こう 学校行こう

声 学校行こう

声 あゝあゝあゝ

典平 やがて夕方帰って来て、ゴハンかっこんだらまた出て行くようになった。帰りは深夜。

不機嫌な顔で帰宅する蘭子。

典平 何の仕事してんの？

蘭子 それ説明せん？

典平 別に。

蘭子 ねえ、バイトせん？

典平 何。

蘭子 千円で背中踏んでくれん？

典平 は？

蘭子 バキバキ。お願い。

マッサージしてやる典平。揉まれながら、蘭子。

蘭子 あゝ、気持ちよか…！

典平 …

蘭子 あんね…きょうね、危なかったあ。眠りかけてね、走りながら夢みよった。

典平 原チャで？

蘭子 うん(笑)

典平 やめなよ。

蘭子 え。

典平 原チャ。事故ったら意味ないよ。

蘭子 あたしが今死んだら、50万手に入っばい。

典平 そっか。

蘭子 ねえバイトせん？

典平 何の。

蘭子 10分で5,000円。

典平 は？

蘭子 触らして。

典平 え。

蘭子 ちんこ。

典平 は？…は？

蘭子 変な意味じゃなくて、触りたかだけ。

典平 欲求不満ですか。

蘭子 めんどくさかけん説明せん。

典平 前金なら。

蘭子 (渡す。躊躇なくさわる)

典平 お…

蘭子 やわかよねえ…世の中にこがんやわかもあるったいね…って思ったもんね。

典平 硬くもなりますけど。
蘭子 禁止。

典平 それ難しいんですけど。

蘭子 あたしん顔ば見とけばよかたい。

典平 …… 蓼食う虫も好き好きですから。お。

蘭子 動かんで！

典平 しましょうか。

蘭子 は。

典平 お相手。…いてっ！

蘭子 ……

典平 えええええ…てかそっういうことでしょ？

蘭子 あんた犬好きね？

典平 大好きです。

蘭子 たとえばたい、ころころした柴犬がスーパの前につながれとったらどがんする？

典平 なでます。

蘭子 なんで。

典平 かわいいから。

蘭子 そつとおんなじ。こころ触りたかだけ、純粹に。動かんで。

典平 …… 地獄なんですけど。

蘭子 あたしに欲情するって、相当よ。

典平 ……

典平、蘭子を抱きしめる。

夜明け前の静寂。

蘭子 はい、おわり。お疲れ様でしたあ。(財布から五千円を出す)

典平 (受け取る)

蘭子 お風呂、入ってくる。

典平 背中、流しましょうか？

蘭子 ……5万円。(手をつき出す)

典平 高。

■(現在 12/20)体温

部屋。

求人雑誌を手に、篠沢とヒナコ。

別次元に、立ったままの典平。

ヒナコ ニコはっ

篠沢 ダメだよ、38歳までって書いてあるだろ？

ヒナコ 大丈夫、見えるよ、38歳。

篠沢 すごくありがと。でも無理だな。

ヒナコ じゃニコは？

篠沢 ……これは、僕じゃ無理だろう…

ヒナコ お。

篠沢 何？

ヒナコ 篠沢さんっていい匂いがある。(くっついて嗅ぐ)

篠沢 気をつけてるんだ。ただでさえほら、ニオイ始めるお年頃だし。

ヒナコ 篠沢さんはニオわないよ。

篠沢 臭うんだよ。そりゃもう仕方ないんだよ。

ヒナコ 病院って変な二才イがするよね。

篠沢 ああ…

典平 病院は臭う。

薬のにおい。尿のにおい。洗わない髪や首のにおい。掃除や消毒液では消せない人間のにおい。元気なときは懸命に消している、もともとのにおい。

ヒナコ 恋愛って何なんだろう。

篠沢 ええっと確か角川の国語辞典には、男女が、

ヒナコ あたしは。

篠沢 聞いてないね。

ヒナコ あたしはきつと抱きつかせてくれれば誰でもいいのかもしれない。あたし弱虫に見えるでしょう？

すっごい依存心強そうでしょう？

篠沢 そうかな。

ヒナコ でもこう見えて何でもひとり決めて来たんです。あんまり、人を信用してないんです。

篠沢 じゃなんでお金貸しちゃうの？

ヒナコ …なんかいろいろんことがぼんやりしてるんです。夢中になるときは「これだ！」って思うんだけど、あとから

考えると、ぼんやり。

篠沢 そう。

ヒナコ このままだと不幸になりますかね？

篠沢 え。

ヒナコ どこを治せば、幸せになりますかね？

篠沢 どうしようもないよね。

ヒナコ 抱きついてもいいですか？

篠沢 だめ。

ヒナコ えええ？

篠沢 そこをさ、まず頑張ってみようよ。

ヒナコ えええ…

篠沢 豆大福、食べる？うまいのがあるんだ。お茶淹れるね。(立ち上がって台所に

ヒナコ (背後から抱きつく)

篠沢 …そっち向かないよ。

ヒナコ ………

典平 病院は臭う。

てか人間がおう。汗で、汁で。

篠沢 ビールがさ、

典平 え。

篠沢 若い頃は、苦いだけって思ってたのに、だんだんうまく感じ始める。

おんなじだ。苦い、くさい、辛い、それがおいしいと感ずるようになる。

こどものあたまのにおい、恋人の汗のにおい、精液のにおい、

経験しないと知りえない、苦い、くさい、辛い、

それがおもしろいからさ、人生は悪くないと思うんだよ。

ヒナコ ……

声 あゝ

声 なんて…

声 なんて…

声 あゝ

声 なんて…

◆(回想 今年12月)居場所・行き場所

回想。今年の冬。二週間前の事故当日。

蘭子 なんて病院行けって言うの？なんで？なんで？

あたしはきちがいとか？きちがいなんだろうね。ちゃんとして欲しいって、ちゃんとていって言い過ぎるのは
きちがいだからなんだろうね？

声 自転車ば倒していかした。

声 うちの犬ば国道に。

典平 なんでそんなことすんの？

蘭子 向こうがわりいどばい。きちんと停めれて言うてから、必ず斜めに突っ込んで行かすとばい。犬のクソは拾えて言
うてから、必ず花壇のとこにさせていかすとばい。(地元弁)

典平 花壇には「犬の糞禁止」の立て札が立てられていた。それはもう、日ごとに増えて、花の数より多いくらいで、花壇
というより墓地みたいに「見えていた」。

蘭子 あーあーあーあーあー

典平 くそ！

もう相手出来なかった。どうにでもなれって思った。

とにかく、「こ」から「脱出したい」と思った。

ある朝、朝「はんが作ってあった」。

典平 なんで？

蘭子 ついでだから。

典平 そういうあれじゃないよね。

蘭子 じゃ食べなまきやいいじゃん。

典平 あったら気つかうよね。

蘭子 気つかってたんだ。

典平 そうだよ。

蘭子 あ————、「めんね。あ————」。学校が「つ」が「つ」が「つ」。

典平 そしてその日の夕方、

声 きゅー

声 きゅー

声 きゅー————

急ブレーキの音。

「いつも通りに歩いている」普通の「人」たち。

繁華街を眺めるように立っている典平。

■(現在 12/24)廊下

手術当日。

看護師 じゃ終わり次第、「ご連絡しますね」。

典平 あの。
看護師 はい？
典平 いえ。

看護師、退場。

篠沢 6時間くらい、だっけ？
典平 とは、聞いてます。
篠沢 いったん帰る？
典平 いえ、いい。

篠沢 だね。おなかすいてない？
典平 え？

篠沢 腹が減つてはなんとやらってね。(保冷バッグからあれこれ)
典平 すいません。

篠沢 (いそいそとそれを広げる)

典平 蘭子さんにも、いろいろ作ってあげたんですか？

篠沢 蘭子ちゃんはね、僕が作ったごはんを食べなかつたんだ。

典平 え。

篠沢 作って置いといても、その横でインスタントラーメン食べてたりした。

回想。篠沢と蘭子が過ごした日々。

篠沢 え、食べてよ。

蘭子 そんな義理ないから。それよが行った？決まった？

篠沢 行く！行くよ！

蘭子 いつ？

篠沢 明日。とか。

蘭子 は？

篠沢 そして一度だけ。

蘭子 行った？決まった？

篠沢 うん。

蘭子 まじで？

篠沢 うん。

蘭子 塾？

篠沢 うん。

蘭子 やったじゃん！

篠沢 うん。

蘭子 今度は辞めんなよ。

篠沢 がんばるよ。

篠沢 その日、蘭子ちゃんは僕が作る料理を食べてくれた。初めて一緒にお酒も飲んだ。

声 大阪、

声 高知、

声 横浜、

声 和歌山、

声 三重、

声 広島、

声 そして福岡。

篠沢 そんなにあちこち行ったんだ。
蘭子 うらやましい？
篠沢 うん。僕は、遠くに行きたいと思いつながら、動けない。結果、追い出される。それで動ける。
蘭子 どうしようもないじゃん。
篠沢 うん、どうしようもない。
蘭子 動いたからって何もなかったけどね。
篠沢 そう？
蘭子 そんなにうろしてわかったことはたったひとつ。
篠沢 何？
蘭子 いちばんやりたいことは大抵失敗する。
篠沢 なんだそれ(笑)
蘭子 ほんと、なんだそれ(笑)
篠沢 (笑)
蘭子 ごちそうさまでした。
篠沢 お粗末様でした。
蘭子 じゃ。
篠沢 え。
蘭子 仕事決まるまで、って話だったよね。
篠沢 ……
蘭子 約束だから。出てって。
篠沢 あの……
蘭子 ほんと、もう、お願いだから。
篠沢 ……
蘭子 出てって。

回想戻り。

典平 ……そっか。
篠沢 ……うん。あ、てか塾、行ったよ。
典平 まじで？？
篠沢 うん。
典平 やったじゃん！どうだった？
篠沢 怒られた。年下の塾長に(笑う)。
典平 笑うなよ。
篠沢 ……
典平 そこで笑うなよ…怖くなるじゃんかよ。
篠沢 何が。
典平 何がって。年上なのに…ちゃんしてよ。
篠沢 年上だって怖いよ。
典平 ……
篠沢 すごく怖いよ。

怖い。病気が怖い。貧乏が怖い。親が病む。親が死ぬ。
地震が、台風が、通り魔が、老いが、将来が、怖いこわいこわいこわいこわいこわいこわい！

声 きゅー

声 きゅー

声 きゅー—————

典平 怖いです…

篠沢 怖いです！

典平 怖いです！

篠沢 怖いです！

典平 本当はね。

篠沢 え。

典平 感動したんだ、映画。

篠沢 じゃがいもの？

典平 すげーくやしかった。泣けて仕方ない自分がくやくくてたまんなかった。

篠沢 怖いです！

典平 怖いです！

篠沢 怖いです！

声 もう一回。

典平・篠沢 怖いです！

声 もう一回！

典平・篠沢 怖いです！

声 もう一回！！

典平・篠沢 怖いです！！

声の主は蘭子。

典平＋篠沢を背後からぎゅうううと抱きしめる。

何が起きているのかわからない二人。

だけど確かに抱きしめられている体温のぬくさ。

たまらない切なさどこみあげる生命力。

振り返る。

自室に戻る蘭子のうしろ姿。

見慣れた背中。

水たまりを跳ぶような足取りで、蘭子。